

2009 年（平成 21 年）年頭にあって
病院長 仙賀 裕

はじめに

新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願いいたします。

年頭にあたり、今年の病院運営の概要
について述べたいと思います。

1 勤務医、看護師確保について

神奈川県でも勤務医、看護師不足は大
きな社会問題になっています。どこかの
科の勤務医が疲弊して辞めてしまうと他
の科の医師にも影響し、病院の存続問題
になってしまいます。

また、最近は看護業務が激務になって
きていることから、より人数の多い大規
模病院で働くことを希望する看護師が増
えたことにより、安全・安心の看護が困
難になった中小病院も見受けられます。
幸い、当院ではそのような事態にはなっ
ておらず、4 月には複数の科で医師を増
員する予定です。市民、患者の皆さんに
安心していただくためには、医師、看護
師の安定確保は重要なことであり、私に
与えられた最大の責務として、本年も果
たして行きたいと思います。

2 DPC について

DPC とは、急性期入院医療に係る診
断群分類別包括評価のことで、簡単に言
えば入院患者さんの医療費がこれまでの
出来高方式ではなく 1 日当たり定額（一
部を除く）で算定される新しい支払い方
式のことです。DPC を導入すると、ク
リニカルパス（一定の疾患や疾病ごとに、
患者さんに対して多職種の連携により提

供される医療をスケジュール表のかたち
にまとめたもの）等を積極的に活用し、
治療を計画的行うことにより、入院期間
の短縮と適正化が可能になります。

また、患者さんの医療費負担が軽減す
ることになります。

当院は一昨年厚生労働省に対して D P
C 適用の準備をしてきた結果、本年 4 月
から D P C を導入することになりました
ので、ご理解の程宜しくお願いします。

3 病棟薬剤業務について

当院は、昨年 4 月から院外処方を実施
しました。導入時に多少の混乱はあった
ものの、現在の院外処方率は 90% を超え
ています。外来患者さんのご協力に感謝
申し上げます。お陰様で薬剤師を各病棟
に常駐させることができ、入院患者さん
に対し、きめ細やかな投薬、点滴等の病
棟薬剤業務を行うことができました。

本年も抗癌剤等の特殊な薬剤も含め、
さらに病棟薬剤業務を充実させるため、
薬剤師が積極的に入院患者さんに声をか
けてまいります。

4 病棟再編成について

湘南地域に回復期リハビリテーション
病棟を有する病院が増え、連携がよくと
れるようになったことと、今後当院が急
性期医療をさらに充実させる必要性があ
ることから、当院における回復期リハビ
リテーション病棟の市民、患者さんに対
しての役割は終えたものと判断し、今後、
一般病床化に向けた本格的な病棟再編を
進めてまいります。急性期医療を担う病
院として、これまで以上に入院を必要と
する救急医療の充実に取り組んで行きた
いと思います。なお急性期としての入院

中のリハビリテーションは引き続き充実させていきます。

5 癌治療について

当院は「日本がん治療認定医機構」の、認定研修施設に認定されています。昨年は難関を突破し「がん治療認定医」が当院で誕生しました。今後も癌についての教育・診療体制を充実させていきたいと思っています。

また、一昨年4月に放射線治療を開始しましたが、これまで多くの癌患者さんの治療を行ってきています。更に、通院しながら癌治療が行えるように外来化学療法室も充実させました。本年も癌治療の三本柱である手術、化学療法、放射線治療を充実させ、市民、患者さんのニーズに充分応えられるようにしていきます。

6 救急医療体制について

昨年も専任の救急医療部長を中心に市民が24時間安心して暮らせるよう、二次救急を中心とした救急医療体制の充実に努めてきました。

また、救急隊員に対する指導、助言や、救急救命士の研修、再教育も積極的に行い、消防機関との連携を深めてまいりました。今後は、救急救命センターのある病院との連携も深めてまいります。本年も市の南側の地区を含め、市内全体の二次救急医療体制を考えなければならない年になりそうですが、当院はそれに積極的に対応して行きたいと思っています。

7 臨床研修医制度について

今年も4月から新卒6人の研修医を採用する予定で、昨年の6人と合わせ、12人の研修医が院内で働く予定です。良質な医療を提供できる医師に育てるため、さらに研修内容を充実させていきます。また、昨年度、当院で初期研修を終了した2人の医師が引き続き後期研修医とし

て働いています。勤務医不足のおり、今後も当院に勤務する医師を自ら育てて行きたいと思っています。

8 市民の健康管理について

3年前に開始した看護師長による「からだ何でも相談」と毎月一回の「出張出張講座」は、市民から好評を頂いており、今年も継続していく予定です。一昨年の4月から開始した土曜日の人間ドックについては受診希望者が少なく、採算性も考慮した結果、4月以降休止することになりました。本年は人間ドックの在り方について1年間かけて検討して行きます。

9 安全管理について

安全で信頼される医療を提供するため、昨年4月に医療安全管理室を正式に設置しました。医療安全管理委員会を中心に、全職員が医療事故防止に努めていきますが、それでも必ず落とし穴があります。本年も安全のための研修を更に充実させ、安全・安心の医療の提供に努めてまいりたいと思っています。

おわりに

毎年のことですが、一人ひとりの患者さんに対して、医師、看護師のほか、栄養士（病棟栄養業務）、薬剤師（病棟薬剤業務）、各種療法士（病棟リハビリテーション業務）がチーム医療を行い、それに診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士等が加わり、事務を含め、市立病院の全職員が一体となって安全・安心で良質の医療が提供できるよう努めてまいりますので、本年も当院にご理解とご支援を宜しく願います。